

ムラサキミミカキグサ

Utricularia uliginosa Vahl

夕ヌキモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

生育地に限られ、狭く、環境の変化により容易に絶滅する危険がある。(現況:V-)

形態

地下部に捕虫囊をつけ、地上葉はへら形である。花軸は高さ5~15cm。花は青紫色で、2~3花をつける。距は下向きだが先はやや前に曲がる。

国内分布

北海道~屋久島。

県内分布

外浦区、中能登区、南加賀区。

生態など

多年生の食虫植物。花期は8~10月。

生育環境

低山の湿地。

危険要因

池沼開発、湿地開発、土地造成、園芸採取、踏みつけ、自然遷移、産地局限、水位上昇。



白井伸和・2007年8月19日・小松市

分布図はありません。

県内の分布